

## 令和元（2019）年大腸肛門病専門医試験出題問題

### 各基本診療科共通問題

大腸癌取扱い規約（第9版）における大腸の区分について誤っているのはどれか。

- a. 盲腸と上行結腸の境界は回盲弁の上唇の高さである。
  - b. S状結腸と直腸S状部の境界は岬角の高さである。
  - c. 直腸S状部と上部直腸の境界は第2仙骨下縁の高さである。
  - d. 上部直腸と下部直腸の境界は仙尾関節の高さである。
  - e. 下部直腸と肛門管の境界は恥骨直腸筋付着部上縁である。
- 正解： d.

[解説]

a, b, c, e：正しい

d：上部直腸と下部直腸の境界は腹膜反転部と定義される。

[出典]

大腸癌取扱い規約（第9版）7ページ

### 専門問題：内科・放射線科・病理科・その他（I）

静脈硬化性大腸炎（特発性腸間膜静脈硬化症）について誤っているのはどれか。

- a. 発症年齢は中年が多い。
  - b. 直腸～S状結腸が好発部位である。
  - c. 漢方薬との関連が注目されている。
  - d. 腹部単純エックス線所見として腸管の走行に一致した石灰化像がある。
  - e. 下部消化管内視鏡検査所見として青銅色・暗紫色と表現される色調変化がある。
- 正解： b.

[解説]

- a. 発症年齢は平均58.4歳で、比較的中年に多い。
- b. 右半結腸に好発し、S状結腸や直腸の有所見率は低い。
- c. 本疾患の90%に漢方薬服用歴があり、生薬である山梔子との関連が指摘されている。
- d. 腹部単純X線検査で腸管の走行に一致してみられる石灰化像が本疾患に特徴的である。
- e. 下部消化管内視鏡検査で、粘膜面の青銅色・暗紫色と表現される色調変化がみられる。

[出典]

- 1) 横山 薫, 他. 特集 腸炎まるわかり[血流障害]特発性腸間膜静脈硬化症. 消化器内視鏡 29: 108, 2017
- 2) 大津 健聖, 他.: 漢方薬内服により発症した腸間膜静脈硬化症の臨床経過. 日消誌 111: 61-68, 2014

**専門問題：外科（Ⅱa）**

免疫組織化学染色と病変の組み合わせで誤っているのはどれか。

- a. KIT—消化管間質腫瘍
- b. S-100—悪性リンパ腫
- c. デスミン—平滑筋性腫瘍
- d. シナプトフィジン—神経内分泌腫瘍
- e. クロモグラニン A—カルチノイド腫瘍

正解： b.

[解説]

a, c, d, e：正しい

b：S-100 は、神経原性腫瘍のマーカーである。

[出典]

大腸癌取り扱い規約第9版

**専門問題：肛門科（Ⅱb）**

ヒトパピローマウイルスが発生に関係する疾患として適切でないのはどれか。2つ選べ。

- a. Bowen 病
- b. 扁平上皮癌
- c. 基底細胞癌
- d. 扁平コンジローマ
- e. Buschke-Lowenstein tumor

正解： c. d.

[解説]

- a. HPV16 および 18 が発生に関与する
- b. HPV16 および 18 が発生に関与する
- c. 紫外線刺激が誘因
- d. 梅毒感染
- e. HPV6 および 11 が発生に関与する

[出典]

目で見てわかる肛門疾患治療、臨床外科 2011 66(12) 医学書院